

気胸で手術を受けられる患者様へ

気胸パス（手術）【30003-01】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1

日付	/	/	/	/	/	/
イベント名	手術前日	手術当日・手術前	手術当日・手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目・退院
目標	☐ 全身麻酔で手術を受けられるように全身の状態が落ち着いている ☐ 手術のオリエンテーション内容がわかる	☐ 全身麻酔で手術を受けられるように全身の状態が落ち着いている 	☐ 体温、血圧、脈拍、酸素の数値が医師の指示の範囲内で経過する ☐ 胸の管から空気漏れがない ☐ 創に異常がない ☐ 胸のレントゲンに異常が無い ☐ 鎮痛剤の使用により痛みが落ち着く		☐ 胸の管からの空気漏れがなく管が抜ける	☐ 退院後の注意点・異常時の対処方法がわかる
				☐ 手術前と同様に活動することができる		
内服注射	☐ 内服中の薬があれば回収します ☐ 翌日9時から手術の場合は点滴の針を入れます 	☐ 医師から指示がある場合、朝、薬を配ります ☐ （ ）時から点滴があります 	☐ 背中に痛み止めのチューブが入っています ☐ 痛みに応じて鎮痛剤（内服薬・注射・座薬）を使用します ☐ 持続の点滴があります 	☐ 10時に持続の点滴が終わります ☐ 点滴が終了したら針を抜きます ☐ 朝から内服薬が開始になります 朝の薬は看護師が配りますが、体調がよければ、昼から薬は自己管理になります		
処置検査	☐ 入院時、身長・体重を測ります ☐ 毎日、日中に体温・血圧・脈拍・酸素の値を測ります	☐ 体温・血圧・脈拍・酸素の値を測ります	☐ 心電図をつけ、状態に応じて体温・血圧・脈拍・酸素の値を測ります ☐ 腸の動きを確認後、飲水していただきます 	☐ 状態をみながら体温・血圧・脈拍・酸素の値を測ります 	☐ 退院まで毎日、日中に体温・血圧・脈拍・酸素の値を測ります その他は状態に応じて適宜測ります	
	☐ 退院まで毎朝医師の回診があります 	☐ 下着はパンツのみとし、貴金属類（時計・めがね・指輪・入れ歯など）を外して手術室に行きます 	☐ 胸のレントゲンを撮ります  ☐ 採血があります  ☐ 血栓予防の足マッサージ機がついています 歩行ができるようになったらはずします ☐ 自分で寝返りができない間は看護師がお手伝いします ☐ 呼吸状態が安定するまで酸素が送与されます	☐ 胸のレントゲンを撮ります  ☐ 回診で傷の消毒・ガーゼ交換をします 	☐ 胸のレントゲンを撮ります  ☐ 胸の管から空気がもれていなければ回診で管を抜きます ☐ 回診で背中の痛み止めのチューブを抜きます （痛みの状況で日にちが前後することがあります）	 退院基準： ・気胸の症状・所見がない ・創部の状態に問題がない
	☐ 退院まで毎朝、前日6時から当日6時までの尿と便の回数を聞きます 	☐ 排便がなければ（ ）時に浣腸をします	☐ 安静解除後、歩行か車椅子でトイレに行きます 尿の管が入ってくる場合もあります	☐ 尿の管が入っている場合は、回診後、歩行が可能かを確認してから抜きます		
清潔	☐ シャワー浴（胸の管がない場合） ☐ タオルで身体を拭きます（胸の管がある場合） 		☐ 自分で動くことができるようになるまで洗面・歯磨きのお手伝いをします  	☐ 胸の管が抜けるまではタオルで身体を拭きます 洗髪は希望に応じてします 胸の管が抜けたらシャワーに入れます   		
食事	☐ （ ）時から食べ物が食べられません 	☐ 食事は摂取できません ☐ 飲水は（ ）時からできません	☐ 水を飲むことが出来たら、ゼリーを食べることができます	☐ 朝食から食事が出ます		
説明	☐ 入院生活についてオリエンテーションをします ☐ 手術の説明が（ ）時からあります ☐ 麻酔科医と手術室看護師から説明があります ☐ 刃物などの危険物がある場合、回収させていただきます ☐ 手術後水が飲めたら、ゼリーを食べられるので、必要な場合は準備しておいてください ☐ くるぶしが隠れる長さの靴下の準備をお願いします		☐ 手術後医師から説明があります 			☐ 退院後の生活の注意点について説明をします（禁煙・創の管理・症状出現時の対応、受診について） 

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります